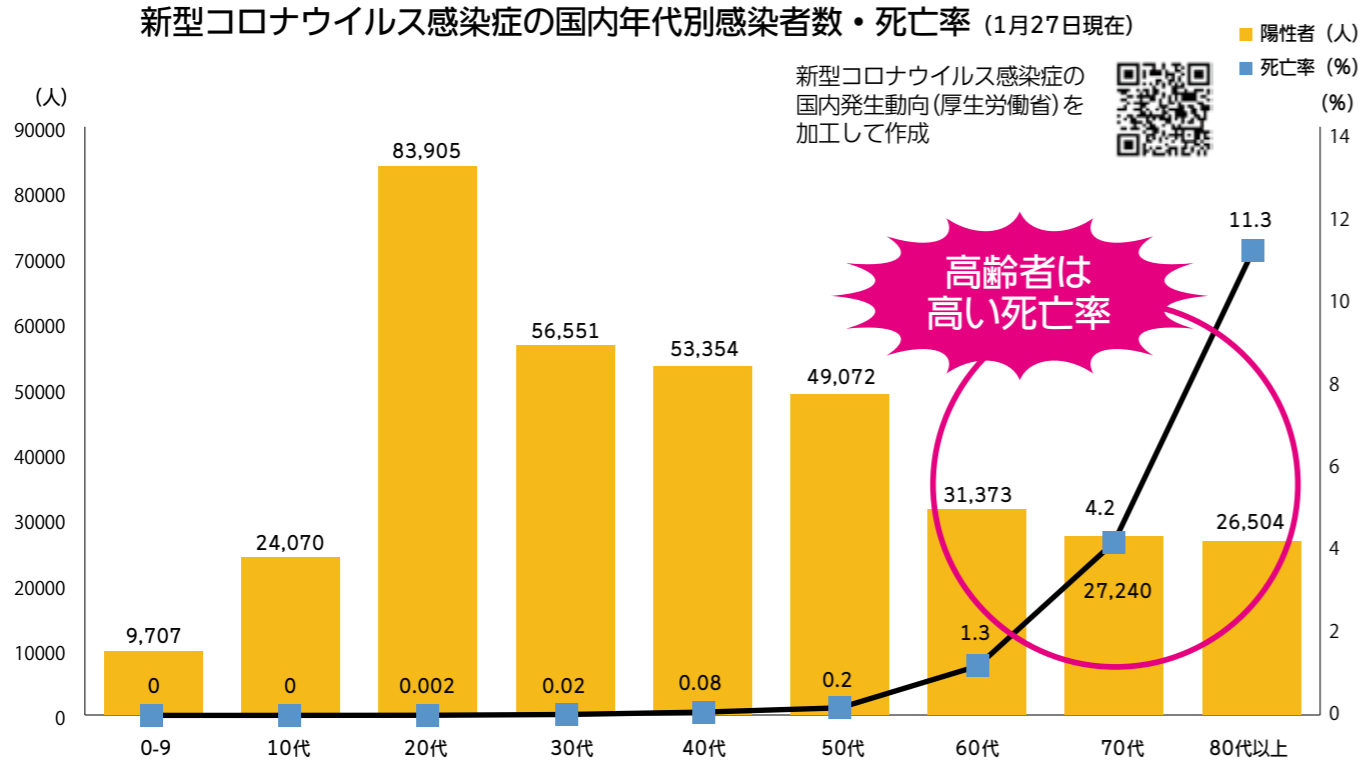


大切なのは

自分の行動を見直そう！ 高齢者にうつさないこと！

厚生労働省が発表しているデータから、死亡率は0~50代までは低く、60代以降の高齢者は高くなるのが分かります。若い人の大半は、感染しても軽症なため、普通の風邪症状とほとんど変わりません。感染拡大を防ぐには、新型コロナウイルスを若い人から高齢者に感染させないことが重要です。

新型コロナウイルス感染症の国内年代別感染者数・死亡率 (1月27日現在)



どんな行動に注意が必要!?

(共通)

- ① 家族など周囲に新型コロナウイルス感染症の陽性者がいるいた → 狭山保健所へご相談ください
- ② 発症日より14日以前に会食に参加した
- ③ 味覚・嗅覚の異常がある
- ④ 熱が下がらない
- ⑤ 階段が登れないなど、呼吸が苦しい

【受診が必要】

(P6に受診方法あり)

(60代以上)

- ① 家族を含めて、普段会わない人と会うことを避ける
- ② 普段行かない場所へ行くことを避ける
- ③ 屋内でマスクを外す場面・場所では、十分注意する
- ④ マスクを外して大きな声でおしゃべりをしない

(0~50代)

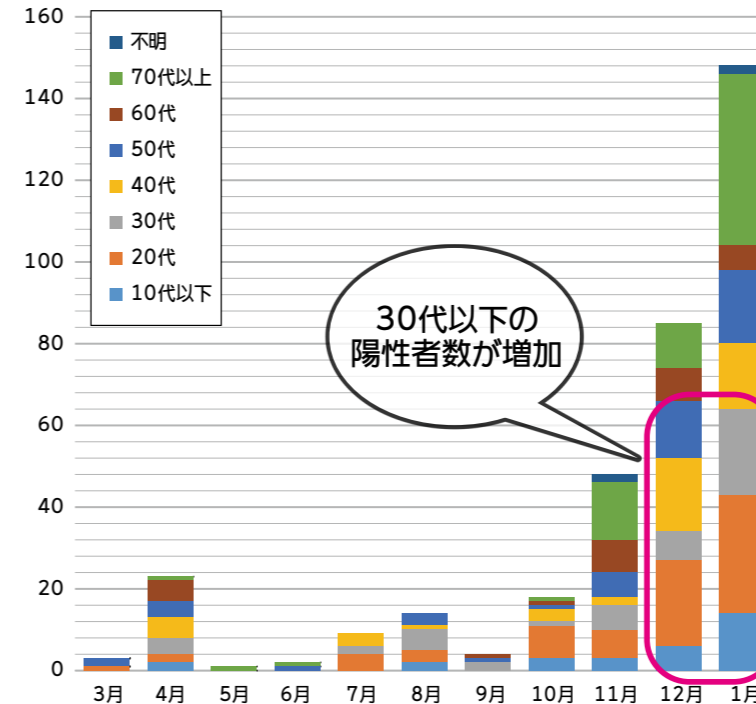
- ① 風邪の症状がある場合は「自分がコロナかも?」と考え、出勤・登校をしない
- ② 自分の体調管理に厳しい目を持ち、「自分は大丈夫」と思わない
- ③ 会議室など、屋内の人が集まる場面・場所では必ずマスクをし、食堂や休憩室などで飲食する場合は、換気や人数制限を行う
- ④ 会食は、普段一緒に食事をする家族などに絞る、十分な感染対策を行っているお店を利用する

市内の陽性者の推移

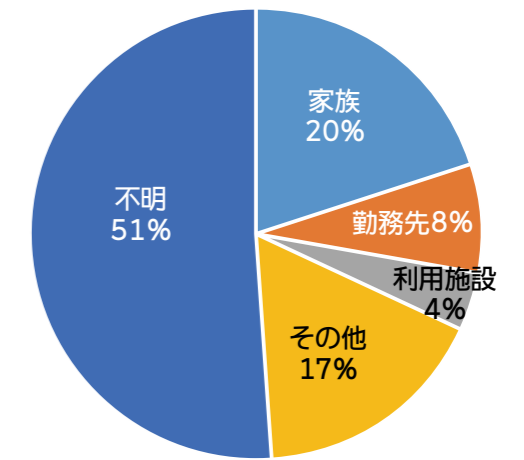
昨年11月から狭山市でも新型コロナウイルスの陽性者数は増え続けています。感染が拡大している要因の一つに、新型コロナウイルスに感染していることに気付かない無症状の人が、知らず知らずのうちに拡散していることが挙げられます。友人や同僚など、自分の目の前にいる人が比較的若く元気であっても、その人の先にいる家族(特に高齢者)を感染させる可能性があると考えながら行動しましょう。

狭山市の陽性者数は、11月は48人、12月は85人、1月が148人と陽性者数が増加しています。年代別では、11月以降の第3波と共に、30代以下の陽性者数が増えています。1月になってからは、介護施設や家族間での感染により、70歳以上の高齢者の陽性者数が増えています。また、約半数の陽性者が不明となっています。また、無症状の人からの感染も考えられます。さらに、家族間や職場内での感染が増えています。しかし、市民の皆さんの感染予防の取り組みにより、狭山市は、県内の他市と比べて状況を抑えることができていると見られます。引き続き、感染予防をしっかりと続けることが大切です。

年代別の推移 (1月31日現在)



感染源と疑われる接触者の割合 (1月31日現在)



狭山市の現状を知る、感染を拡大させないために

狭山市医師会からのメッセージ

緊急事態宣言後も、まだ収束の兆しが見えない状況です。

狭山市医師会では、昨年5月にPCR検査センターを設置しました。また、埼玉県では、診療検査医療機関を公表し、速やかに受診できるような体制を整えました。しかし、これ以上感染拡大が進めば医療体制は逼迫し、通常の医療が立ち行かないばかりか、重症者の受け入れが困難となってきます。医療機関では、引き続き感染対策と医療提供体制を維持していくために、使命感をもって地域医療にあたっています。

現在、ワクチン接種が進められるよう、市をはじめ関係機関と調整を続けています。引き続き迅速な対応、最新の情報共有、安全安心を掲げ、進めてまいります。市民の皆さまには、感染が拡大しないよう、感染予防を意識した行動をお願いいたします。

狭山保健所からのメッセージ

年末から感染者数が大きく増えています。新型コロナウイルスは、感染した人が発症する前や無症状のままであっても、他人につけてしまう病気であり、誰が感染してもおかしくありません。人と話すときは必ずマスクをし、会食を避け、密閉した空間での滞在を避けるなどの予防策が有効です。医療現場は逼迫しています。自身だけでなく、大切な人を守るためにも、行動を見直し、感染予防をさらに徹底していただくようお願いいたします。